

自分の名前。
利き手じゃない手で
書いてみてください。

発達障がいつて
なんだろう。

常田先生、教えてください。

もしも、あなたが右利きなら、
左手で文字を書いてみる。

一度くらいはやったことがありますよね。

書き方はわかっているのに、

きれいにスラスラと書けないもどかしさ。

発達障がいには、その感じにとてもよく似ているんです。

やろうと思っても、どうにもうまくできない。

言われた通りにしているつもりでも、人にはそう見え、

グズグズするな！と怒られたりすると、固まってしまう。

そして、できない自分を責めるようになる。

そんな悪循環に陥ってしまう人が少なくないのです。

昨今、発達障がい注目されるようになったのは、

社会の効率化が進んだことと

無関係ではないかもしれませんが、それはある意味、

この社会の生きづらさを表すサインとも言えるでしょう。

発達障がいを理解することは、

私たち自身の個性を認め合うことです。

多様性のある社会は、その先に

生まれてくるのではないでしょうか。



心理教育学科
教授 常田 秀子



和光3分大学

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学